

# 春夏秋冬



武蔵野会ニュース No. 158 平成27年7月15日  
発行 社会福祉法人 武蔵野会  
本部 東京都八王子市台町1-19-3 TEL042(623)8509  
<http://www.musashinokai.jp/>

## 特集 平成26年度事業報告書(抜粋)



封入作業に集中  
(練馬区立北町福祉作業所)

### トーク 優しい心

夜、公園で寝ているところを中学生のグループに襲われて負傷したホームレスの高齢者が、その後中学校を訪れて校長に言ったこととは？ 先日の施設長会の研修で、累犯障害者に寄り添い、その地域定着の支援をライフワークとしている赤平守さんの間に、正直、上手な答が浮かびませんでした。

このホームレスは、「深夜に公園にいた中学生たちは、自分と同じように、帰る家が無かったのではないかと心配して来たのだそうです。仕返しでもなく、恨みを言いに来たのでもなく、なんと優しい心を持ったホームレスでしょう。中学生たちは、きつと立ち直ってくれたことと思います。

自分のことと同じように、相手のことを思いやる。この自己同一の思いやりや視点の転換ということで思い出したのは、大正年代に活躍し、今も私たちに感動を与えてくれている詩をたくさん作った金子みすゞのことです。

イワシの大漁に湧き祭のような浜辺にいて、でも、海の中では何万というイワシのとむらいをしているのではないかと、捕らわれた魚たちの悲しみに心を寄せる詩を作りました。また、人間の子どもに子すずめを捕られたかあさんすずめの悲しみに心を寄せた詩もあります。

昼の星など、見えないけれどもしっかりと存在するものへのまなざしがあり、小鳥も鈴も私も、それぞれ出来ることと出来ないことがあるけれど、「みんなちがって、みんないい」とも歌いました。

そしてこれから伝わってくる優しい心は、武蔵野会の理念「自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ」にも通じるものがあります。累犯障害者など、生きづらさを抱えた人々に対する支援にも、ぜひ活かしていきたいものです。

社会福祉法人武蔵野会理事長 上野 純宏



# 平成26年度 社会福祉法人武蔵野会 事業報告書(抜粋)

## 運営全般

第3期3か年計画の最終年度となるため、各課題のまとめに加え、種別部会、プロジェクトチームのまとめを行い、次期計画に反映させた。継続する最重要課題は、理念に添った支援実践で、理念研修、実践事例報告会、支援実践集の作成を継続した。施設入所支援、生活介護、就労支援、グループホームに分かれた種別部会では、種別独自の課題の抽出とまとめにはなった。

児童学園の建て替えのための土地の取得は、計画が具体化した。新規事業のための土地の購入(八王子)も交渉を進め目処が立った。計画相談事業については、昨年度末に続き、今年度は4施設が開始した。

社会貢献事業では、HIV長期療養者の福祉施設等への啓発冊子の発送や講演依頼が3年を超えても継続した。累犯障害者の地域生活定着支援については、支援地区・支援人数の拡大に繋げるため、年度後半には、「罪を犯した障害者等の支援者ネットワーク」の立

以下、26年度の主な年度方針に沿って報告する。

①文京総合福祉センター・リアン文京の開設準備  
人材の確保、前年度から法人説明会と採用試験を繰り返し、異動職員も加え、60人を超える配置となった。

②次世代育成研修の実施  
理念研修で理念の実践に心がけると同時に、ワールドカフェ方式により理事長と職員の法人の方針や理念について共有する研修を継続した。

③建て替え施設に対する法人のバックアップと進捗管理、資金計画  
建て替えに伴う新規事業計画を基に、補助金申請や設計等の行程確認と法人資金状況を建築費高騰に対応し、資金計画の修正を行った。26年度に既に着工した2施設は工程表に添って順調に工事が進んだ。27年度に着工予定の2施設も事業計画や補助金申請を進めた。

④リアン文京以外の新規事業の開始に向けた準備  
27年度4月からの個別支援計画作成のための計画相談事業に関しては、八王子地区の「もなか」の他、練馬福祉園、東堀切くすのき

## ⑥防災、減災の対応の強化

日本福祉大学の提携法人の防災ネットワークに入り、御殿場地区長と施設長を担当委員として、法人、施設のBCPについて見直しを継続した。携帯電話による全職員への安否確認システムについては導入しながらも、各施設での徹底に至らず本部として課題を残した。計画した災害派遣チームの結成や地域防災活動についても次年度の重点課題としたい。

## ⑦プロジェクト活動

5つのプロジェクトチームを組織し、地区ごとや部会により進めた。

\*虐待防止関連強化  
練馬地区が担当し、虐待防止策の定着と支援実践の向上に向けて、三か年計画の最終年として、計画に添って進捗を確認しながら進めた。特に虐待防止担当養成を企画し、施設ごとに虐待防止マネージャーを配置した。

\*リスクマネジメント環境推進  
世田谷地区が担当し、武蔵野会事故事例集の活用、事故対応マニュアルの活用を図った。研修としてクレーム対応、記録の書き方、業務標準化、リスクマネジャー養成等を実施した。

園、白鳥福祉館、きね川福祉作業所が開始した。八王子の柗田の土地の購入と事業計画、設計の準備を進めた。練馬区のグループホームの建設は、年度末から、建設に向けて話し合いを始めた。

## ⑤社会貢献事業

\*累犯障害者の地域生活定着支援  
開始から2年目となり、本部の近隣アパートと、ふじもりホームで生活する2名は継続して生活している。大島2施設でも受け入れを進めた。

\*法人成年後見の推進では、各地区での被後見人の候補者の選定が進み、昨年度から5名増え17名となり、さらに候補者が増えている。

\*厚生労働科学研究のHIV長期療養者の福祉施設の受け入れの推進では、今年度も「福祉施設の受け入れマニュアル」の発送依頼や研修依頼も増えた。

\*被災地支援は南相馬市で継続し、特に社協が実施する放射線値の高い地域で、未だ戻れない人の家の清掃に人数を多く派遣した。5月から11月まで99名が参加した。

\*来年度に備え、東京都の生活困窮者の支援事業(きずな事業)への参画のため、研修に努めて参加した。

## むさしの武蔵野 将来世代の負担

先日、法人内の研修に参加した際に、「財政的児童虐待」という興味深い話を聞きました。これは、ボストン大学のローレンス・コトリコフ経済学教授が、未来のアメリカの社会保障の姿を検証し、現役世代が若年層やこれから生まれてくる子どもたちに、社会保障等の財政負担を押し付けることを危惧して定義したものです。アメリカでは2008年秋のリーマンショック以降、巨額の財政赤字を記録しました。しかし、一時は一兆ドルを超えた赤字は、2015年には4千億ドル以下に縮小したのです。国防費の削減など様々な支出削減や税負担の引き上げ等の制度改革が行われた結果ですが、国民感情の中に「子どもの世代は自分たちの世代よりも豊かな生活を享受できる」というアメリカンドリームが崩壊したことで、子どもたちの将来世代への負担を回避するんだ、という意識が生まれたためとも言われています。

さて、同じく増税にて税負担の引き上げを段階的に実施している日本ではどうでしょう。増税の是非を問う議論の中心は、長期金利の上昇やインフレの継続、景気回復の先行きばかりでした。残念ながらアメリカのように、「将来世代への負担」についての議論がされることはありませんでした。財政赤字のために国民の借金は増え、将来世代が肩代わりするということは教科書にも載っています。しかし、根本的な対策はされないまま負担だけが積み上がっているのが現状です。「国の借金」と言われる日本国債や借入金、政府短期証券を合わせた額は、2015年3月末に約1053兆円を越え、4月現在で国民一人当たりの負担額は単純に計算すると約830万円になります。これは、高齢の方も今生まれたばかりの赤ちゃんも平等に負担した場合です。

ある学者の試算では「5%増税されたとしても子ども・子育て支援へはそのわずか0.3%充当されるだけ」とも言われています。

国債の発行は、次世代への負債だけではなく、投資という意味もあります。しかし、このままでは財政再建の影で次世代への負担は増えるばかりです。首相の言う「美しい国、日本」では、子どもたちへの教育の再生が打ち出されています。教育の再生も必要ですが、子どもたちに負の遺産が残らないよう、みんな考え防ぐことが必要ではないでしょうか。

武蔵野児童学園 施設長 山田貴美



資金収支計算書  
(自) 平成26年 4月 1日 (至) 平成27年 3月31日

第1号の1様式  
(単位:円)

勘定科目		予算	決算	差異
事業活動による収支	収入			
	介護保険事業収入	487,570,000	485,500,169	-2,069,831
	児童福祉事業収入	307,356,000	307,126,287	-229,713
	就労支援事業収入	64,568,000	63,587,187	-980,813
	障害福祉サービス等事業収入	5,802,563,000	5,927,107,324	124,544,324
	収益事業収入	2,012,000	2,160,000	148,000
	経常経費寄附金収入	25,856,000	27,041,087	1,185,087
	受取利息配当金収入	2,602,000	2,734,131	132,131
	その他の収入	93,495,000	95,689,773	2,194,773
	事業活動収入計(1)	6,786,022,000	6,910,945,958	124,923,958
	支出			
	人件費支出	4,574,145,000	4,426,809,657	147,335,343
	事業費支出	896,939,000	846,616,507	50,322,493
事務費支出	1,004,973,000	986,591,750	18,381,250	
就労支援事業支出	66,151,000	65,026,799	1,124,201	
収益事業支出	1,012,000	897,222	114,778	
利用者負担軽減額	500,000	444,889	55,111	
その他の支出	43,387,000	41,277,253	2,109,747	
事業活動支出計(2)	6,587,107,000	6,367,664,077	219,442,923	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	198,915,000	543,281,881	344,366,881	
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等補助金収入	40,000,000	48,408,000	8,408,000
	固定資産売却収入	0	304,062,150	304,062,150
	施設整備等収入計(4)	40,000,000	352,470,150	312,470,150
	支出			
	設備資金借入金元金償還支出	2,630,000	2,630,000	0
	固定資産取得支出	818,218,000	1,312,091,118	-493,873,118
	固定資産除却・廃棄支出	0	66,150	-66,150
	ファイナンス・リース債務の返済支出	1,278,000	1,277,856	144
	施設整備等支出計(5)	822,126,000	1,316,065,124	-493,939,124
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-782,126,000	-963,594,974	-181,468,974	
その他の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入	1,276,705,000	1,196,994,009	-79,710,991
	事業区分間繰入金収入	1,000,000	0	-1,000,000
	拠点区分間繰入金収入	1,077,845,000	0	-1,077,845,000
	その他の活動による収入計(7)	2,355,550,000	1,196,994,009	-1,158,555,991
	支出			
	積立資産支出	895,327,000	990,254,955	-94,927,955
	事業区分間繰入金支出	1,000,000	0	1,000,000
	拠点区分間繰入金支出	1,223,986,000	0	1,223,986,000
	その他の活動支出計(8)	2,120,313,000	990,254,955	1,130,058,045
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	235,237,000	206,739,054	-28,497,946	
予備費支出(10)	2,711,000	0	2,711,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-350,685,000	-213,574,039	137,110,961	
前期末支払資金残高(12)	350,685,000	2,103,831,706	1,753,146,706	
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	1,890,257,667	1,890,257,667	

貸借対照表  
平成27年 3月31日現在

第3号の1様式  
(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	2,226,255,935	2,741,192,993	-514,937,058	流動負債	339,979,024	641,050,443	-301,071,419
現金預金	1,497,221,204	1,777,088,663	-279,867,459	事業未払金	136,040,783	436,349,253	-300,308,470
事業未収金	639,492,421	847,180,979	-207,688,558	1年以内返済予定設備資金借入金	2,630,000	2,630,000	0
未収金	1,510,307	1,282,769	227,538	1年以内返済予定リース債務	1,350,756	1,059,156	291,600
未収補助金	14,711,877	19,564,719	-4,852,842	未払費用	60,226,841	50,684,750	9,542,091
受取手形	114,490	0	114,490	預り金	54,066,577	65,379,576	-11,312,999
貯蔵品	0	16,211	-16,211	職員預り金	33,492,955	36,976,888	-3,483,933
立替金	41,696,835	59,962,758	-18,265,923	前受金	204,000	617,000	-413,000
前払金	8,127,226	10,662,131	-2,534,905	前受収益	201,000	210,000	-9,000
前払費用	9,885,897	11,933,151	-2,047,254	仮受金	51,766,112	47,143,820	4,622,292
仮払金	13,495,678	13,501,612	-5,934	固定負債	406,855,618	382,785,792	24,069,826
固定資産	7,330,269,298	6,754,559,928	575,709,370	設備資金借入金	34,190,000	36,820,000	-2,630,000
基本財産	2,475,183,364	2,401,189,898	73,993,466	リース債務	3,066,012	3,177,468	-111,456
土地	409,955,174	411,732,381	-1,777,207	退職給付引当金	369,169,606	342,358,324	26,811,282
建物	2,065,228,190	1,989,457,517	75,770,673	長期預り金	430,000	430,000	0
その他の固定資産	4,855,085,934	4,353,370,030	501,715,904	負債の部合計	746,834,642	1,023,836,235	-277,001,593
土地	178,207,752	19,792,448	158,415,304				
建物	514,084,366	552,212,240	-38,127,874	純資産の部			
構築物	49,697,817	53,528,208	-3,830,391	基本金	651,397,735	651,397,735	0
機械及び装置	848,609	982,599	-133,990	基本金	651,397,735	651,397,735	0
車両運搬具	16,782,625	17,251,507	-468,882	国庫補助金等特別積立金	1,443,232,893	1,533,272,433	-90,039,540
器具及び備品	163,809,737	145,803,757	18,005,980	国庫補助金等特別積立金	1,443,232,893	1,533,272,433	-90,039,540
建設仮勘定	640,724,565	66,522,600	574,201,965	その他の積立金	2,898,071,836	3,132,626,596	-234,554,760
有形リース資産	4,416,768	4,236,624	180,144	徴収不能積立金	1,250,000	1,250,000	0
権利	1,019,250	1,019,250	0	措置施設特定積立金	7,246,858	7,246,858	0
ソフトウェア	13,141,038	11,923,912	1,217,126	施設整備積立金	2,045,785,266	2,320,340,026	-274,554,760
退職給付引当資産	369,169,606	342,358,324	26,811,282	人件費積立金	839,819,712	799,819,712	40,000,000
徴収不能積立資産	1,250,000	1,250,000	0	工賃変動積立金	3,970,000	3,970,000	0
措置施設特定積立資産	76,847,858	86,847,858	-10,000,000	次期繰越活動増減差額	3,816,988,127	3,154,619,922	662,368,205
施設整備積立資産	2,003,861,266	2,268,416,026	-264,554,760	次期繰越活動増減差額	3,816,988,127	3,154,619,922	662,368,205
人件費積立資産	812,142,712	772,142,712	40,000,000	(うち当期活動増減差額)	427,813,445	618,881,667	-191,068,222
工賃変動積立資産	3,970,000	3,970,000	0				
差入保証金	4,980,710	4,980,710	0	純資産の部合計	8,809,690,591	8,471,916,686	337,773,905
長期前払費用	131,255	131,255	0	負債及び純資産の部合計	9,556,525,233	9,495,752,921	60,772,312
資産の部合計	9,556,525,233	9,495,752,921	60,772,312				



# ニューラウンジ

## リアン文京 オープン

4月1日に文京区小日向2丁目16番15に文京総合福祉センターが開設しました。同センターは地上4階地下1階、床面積約8千㎡の都市型の福祉複合施設です。一階から三階の東側エリアは入所施設リアン文京で定員が40名、短期入所定員10名の施設です。1階には



リハビリに取り組む

生活介護事業こぼん（定員45名）、就労継続支援A・B型の多機能型支援事業のワークプレイスぶんぶん（定員A型10名・B型10名）があります。



にぎわうcafé BunBun

2階西エリアに、自立訓練りら（定員生活訓練9名、機能訓練6名）や地域活動支援センターマイボジション（定員10名）があり、地域の障害者の自立支援を応援しています。  
3階西側エリアには、放課後等デイサービスびおら（定員20名）があり障害児（知的・身体）の総合的な支援を行っています。  
さらに子育て部門として、子育て支援を行う子育てひろば江戸川

橋と、2歳から12歳までの子どもを短期に預かることもショートステイ（定員3名）があります。  
4階には老人センター（60歳以上の高齢者対象）並びに地域振興施設を併設する文京福祉センター江戸川橋があります。  
6月1日から1階の事務所で地域プラザふらっと（特定相談支援、居宅介護、移動支援）の地域支援部門が開始しました。その他、重症心身障害者通所事業や軽度障害者入浴事業等の事業を合わせると合計17の事業が武蔵野会の受託もしくは直営事業として行われています。

障害者部門では、様々な通所の利用者約100名が入り利用しています。入所施設でも10数名が、元気に他法人の通所施設に出かけていきます。  
1階エントランスでは、カフェぶんぶんで利用者が元気に立ち働き、焼きたてパンの香ばしい香りが立ち込める中、毎日、子育てひろば江戸川橋に約80人の母子連れが、文京福祉センター江戸川橋には100名近い高齢者や一般の方が来館しています。  
開設して3か月、まだまだ事業



### 練馬区立光が丘福祉園

5月16日の土曜日に地域交流会を開催しました。模擬店、フリーマーケット、バザー、プランを実施。朝からの雨模様の中、子どもから高齢者まで200人を超える来場があり、福祉園が「楽しい場所」として、地域に根付いてきました。

### 世田谷区立九品仏生活実習所

今年度の一泊旅行は、ドイツニーランドと東京スカイツリーでした。皆さん、アトラクションやパレードを楽しみ、翌日は地上350mの景色を堪能されていました。

### 練馬区立大泉福祉園

先日、バイキング昼食のデザートに、駒沢生活実習所から借用したチョコレートファウンテンを使ったフルーツのチョコフォンデュを用意しました。できたてのチョコスイーツをさっそく口にし、みなさん、最高の笑顔でした。

### 練馬区立北町福祉作業所

自主生産品の安全性を確保するために「菓子製造管理マニュアル」を作りました。異物混入対策、アレルギーなどの情報提供、材料の産地記載、施設の衛生管理などを盛り込み、食品事故の防止に努めています。

### 世田谷区立駒沢生活実習所

緊急一時宿泊や体験宿泊利用者のために、新たに機械浴槽の設置が決まりました。これまで家庭サイズユニットバスでの入浴でしたが、今後は大きな負担をかけずに介護が必要な利用者も入浴が楽しめるようになります。

### 八王子市中心身障害者福祉センター

5月29日から6月12日にかけて恒例の「障害者施設作品展・即売会」が開催されました。参加は市内にある25の福祉作業所など。美味しいパンやクッキー、技の高さを感じさせる木工製品に可愛い小物などなど、大好評でした。

### すぎな愛育園

平成25年10月に開設した「すぎな愛育園きらきら」は、今年3月に初めての卒園式を挙行しました。2名の卒園児が小学校に巣立ちました。4月には、すぎな本園ときらきらを合わせて、27名の新入園児を迎えました。

### 第2大島恵の園

毎月、季節の植物や風景を求め島内を散策する地域サークル（OWC大島ウォーキングクラブ）に参加しています。リュックにカセットコンロ・水筒・食材などを詰め込み、さあ出発。青空の下で食べるホットサンドやラーメンは格別です。



## 八王子の新しいグループホーム

### サテライト型グループホーム

八王子福祉作業所

が軌道にのっているわけではありませんが、リアン文京では子供からお年寄りまで、障害のある方もない方も利用できる都市型の地域福祉を目指していきたいと考えています。

八王子福祉作業所の就労移行支援事業は、「企業就労をかなえる」と「安心して働き続ける」を



普通のマンションが生活の場に

目標に、就労と生活を表裏一体と考えて支援しています。そこで将来の自立生活を希望される方を対象に、当施設が相談支援や緊急対応を担う自立型グループホームを設置しました。  
ふじもりホームはこれまで4名の共同生活でしたが、定員を2名増員し、支援を相談に特化した自立生活型のユニット「hachiwell lab house」が誕生しました。  
近所のワンルームマンションを借り上げて、家事は自分で行います。世話人は同居しませんが、不安な時や困った時には、すぐに八王子福祉作業所の職員が対応します。自立生活の最大の不安要因の「孤立」を回避して、自立生活への自信を提供できる事業所にしたいと思っています。

### サライ 希望の里

今年2月に、社会福祉法人つるかかわ学園から武蔵野会が移譲を受けたグループホーム「サライ」の運営が始まりました。西八王子駅から10分ほど歩いた小高い所に建つ一軒家で、眼下に浅川が流れる見晴らしのよい場所にあります。



高台の一軒家

現在、サライには5名の利用者の方が生活しています。日中は、福祉作業所に通っている方や、一般企業に就職して働いている方もいます。平日は、皆さんの出勤する時間や帰る時間が違うため、一緒に食事をする機会がありません。そのため、休日にはできるだけ揃って食べていただけようようにして、会話を楽しむ時間になっています。  
バックアップは希望の里が行っていますが、一人ひとりの時間を大切にしながら、一緒に暮らす人達と過ごす時間も大切に、利用者の方々が自分らしい生活を送っていただければと思います。





# マイクロバス寄贈 第2大島恵の園

大島恵の園・第2大島恵の園家族  
会からマイクロバスを寄贈して頂  
くことになりました。

車椅子4台と18人が乗れ、乗降  
口は3枚扉のため広く、介護者も  
並んで乗降できます。一度に大勢  
の方が出掛けられるようになるの  
で、島内の買い物やドライブ、島  
内旅行などに大活躍をしてくれる



寄贈予定のマイクロバス

ことでしょうか。  
今から9月頃の納車を心待ちに  
しています。

## お知らせコーナー

### 7月

- 1~3日 第55回お花茶屋ふるさとまつり参加  
【葛飾地区】
- 11日 すぎな連絡勉強会
- 25日 ひかりまつり(練馬区立光が丘福祉園)
- 25日 実践事例報告会 (世田谷地区)
- 26日 利用者団体帰省 (大島地区)
- 30・31日 施設公開(世田谷区立烏山福祉作業所)

### 8月

- 1日 八王子夏祭り・花火大会(八王子地区)
- 2日 利用者団体帰園 (大島地区)
- 8日 第36回 夕涼み会(すぎな愛育園)
- 26日 施設公開(練馬区立大泉福祉園)
- 27日 運営協議会(練馬区立大泉福祉園)
- 29日 恵の園開設記念音楽会  
(第2大島恵の園開設20周年)

### 9月

- 3・4日 一泊旅行(世田谷区立烏山福祉作業所)
- 10・11日 一泊旅行(世田谷区立烏山福祉作業所)
- 27日 わたぼうし祭(八王子生活実習所)



hachiwell  
house

価格は4号サイズ1,800円、  
5号サイズ2,500円

「hachiwell lab cate」は、パティ  
シエの指導でケーキを製造販売し  
ています。注文生産でホールケー  
キも販売します。季節のフルーツ  
入りで、極上生クリームと絶品パ  
タークリームが選べます。誕生日  
や記念日にぜひご注文ください。

## 八王子福祉作業所

☎042・626・0631

## ショーケース 自主生産品紹介 新商品



写真はメープルクルミ  
各120円

## 烏山福祉作業所

☎03・3326・8001

工房に新しく「ろかるか」  
が仲間入りしました。

明治生まれとも言われる「甘食」  
をオシャレにアレンジしました。  
プレーン、モカチョコ、レモンコ  
コ、メープルクルミ、チーズ、オ  
レンジアーモンドの6種類です。  
選べるおいしさ、笑顔の広がるテ  
ィタイムのお供にぜひどうぞ。

## 武蔵野会後援会

社会福祉法人武蔵野会が経営する  
25施設と6つのグループホームの利用  
者のために、より良い環境や施設の充  
実・施設の円滑な運営などを、物心両  
面から支える組織として、武蔵野会後  
援会があります。皆様のご理解とご協力  
により、会の拡大をはかり、法人の運営  
基盤の確立を応援していますので、ご協  
力をお願い申し上げます。

〒193-0931

東京都八王子市台町 1-19-3

電話・FAX 042-626-9772